

#2314

変化に富んだ尾根歩き

常念岳・蝶ヶ岳

実施日 二〇〇七年八月三了二六日(木)日)

天候 晴

リーダー 馬場 清士

参加者 中林大吉、友近洋子、渡辺清、若村勝昭、佐藤金治、

小池述史、馬場清士、涌井良明、鈴木政三、井上輝

次(G) 計 一〇名

費用 約三八〇〇〇円

コースタイム 一日目 新宿BT(一時五〇分)松本BT(一四時五

五分)JR松本駅(一五時十二分)穂高駅(十五

時四七分)民宿 友(一四時) 泊

二日目 民宿 友(六時二〇分)タクシー(登山口(六時

四五分)ヒエ平(七時二五分)七時三五分

山の神(七時五〇分)大滝ベンチ(八時三〇

分)八時四〇分)最後の水場(十一時二〇

分)常念小屋(一二時二〇分) 泊

三日目 常念小屋(六時四五分)常念岳(八時三〇分)

九時三〇分)P2592(十二時)十二時三〇分

昼食(蝶ヶ(一三時四五分)一四時)蝶ヶ岳ヒュ

ツテ(一五時) 泊

四日目 蝶ヶ岳ヒュツテ(七時)まめうちだいら(八時

三〇分)八時四〇分)力水(九時二〇分)三股

(九時四〇分)登山口(一〇時一〇分)タクシー

ホリデー湯(一〇時三〇分)十三時二〇分)夕

クシー(豊科駅(十三時四〇分)十三時分)

連日の猛暑の中、新宿BTを予定通り出発した。途中、双葉S

Aで休憩し予定通り松本BTに到着。松本からJRに乗換え穂高

に到着、都内の蒸し暑さは何処へやら、爽やかな風の中民宿へ落

ち着いた。サービス満点の民宿でおおいに盛り上がった夕食とな

った。

二日目、快晴の中、タクシーで安曇野の田園風景

を見ながら、登山口へ向かった。ヒエ平から一ノ

沢の左岸を、きつい登りもなくたんと登る。

中間地点あたりの笠原を過ぎると、胸突八丁の高



巻道に入り、踏み外しに注意しながら急坂を登りきると、最後の水場で多くの登山者が休んでいた。

水場から常念乗越までは、樹林帯の急坂が続き、一時間ほどで常念小屋が建つ常念乗越に着くと

間近に横道岳が見える。正面に槍穂連峰の雄姿が目に見え、感激の瞬間だ。



三日目、快晴、ご来光と朝焼けの槍穂連峰を見ながら、ガレた岩の道を切りかえしながら高度を

稼ぐ、前常念への分岐を過ぎると常念山頂だ、360度の展望が素晴らしい。槍穂は勿論のこと遠く御嶽山、乗鞍岳、白山ま



た劔岳、立山連峰、鹿島槍、富士山、南ア、八ヶ岳連峰と嬉しい悲鳴！



常念からガレた道を下り、樹林帯に入り、稜線を緩やかにアップダウンする。小さな地糖を過ぎ、急坂を登り返し稜線をつめると蝶槍だ。広い稜線をしばらく行くと蝶ヶ岳ヒュッテが建っている。ここからは前穂、奥穂、涸沢岳、北穂の四つのピーク並んで見え

る。夕日と満天の星空、ご来光と朝焼けの穂高が素晴らしかった。

四日目、分岐から三股へ樹林帯の中、急坂を下る。

少し下りが緩くなるとまめうちだいらに着くが、



ふたたび急坂になり、しばらく行くと力水に着く。そこから本沢の左岸を下り、前常念岳への分岐を過ぎると林道に出る。

予約しておいたタクシーで、ホリデー湯に向かい3時間程ゆっくり休息して豊科駅に向かった。天気にも恵まれ、展望にも恵まれ、のんびり、湯っくり過ごした最高の四日間でした。



参加された皆さん有難うございました。

(記・馬場 清土)